

HANAOKA MUSEN DENKI
CORPRATE PROFILE



経営理念

MANAGEMENT OBJECTIVE

私たちは、放送局向け音声設備を提供する企業として、
伝統技術を維持し、先進技術を積極的に取り入れ、経営者・全従業員が一丸となって
地球環境に配慮し顧客が満足する優れた品質の製品の創出に努めます。

CONTENTS

社長挨拶
P02

事業概要
トータルインテグレート
P03



システムインテグレート
P04



システム／製品
P05



サービス／保持
P06



会社データ
P07

ISOの取り組み
P08

会社沿革
P09

9月30日より山木前社長の後を引き継ぎ、花岡無線電機の代表取締役社長に就任いたしました花岡克己です。当社は大正14年から創業85年を迎え、「お客さまのニーズにお応えすること」を経営理念としてきました。15年後の創業100年を目指し、当社で働くすべての従業員が、その経営理念を再度共通認識として、今まで以上にニーズにお応えできるよう努力してまいります。このことを実現するため



に、今最も必要なものは「音声メーカーとしての“誇り”」だと考えております。この“誇り”は、花岡無線電機で働く一人ひとりから生まれてきます。当社の従業員が熱い想いや夢を持って、互いの絆を深めながら、前向きな行動や積極的なコミュニケーションを通じて“誇り”を感じられる企業風土をつくっていきたいと考えております。その結果、従業員の熱意や夢は、製品となり、価値や信頼感となって、皆様に届いていくものだと思うからです。皆様の満足は従業員、そして花岡無線電機の満足につながります。皆様に優れた製品を創出することができ、美しい音をお届けし、それを聞く人々が幸せな気分になっていただけるそのような企業づくりをしたいと考えております。皆様方には、これまで以上のご愛顧とご支援を心よりお願い申し上げます。

2010年11月

代表取締役社長

花岡克己

TBSラジオ 第8スタジオ



TOTAL INTEGRATE トータルインテグレート

最大限の技術を活かす音響空間。

お客様のスペースや仕様、ご希望に合わせたオリジナル音声卓製作(アナログ/デジタル)からのシステム構築、さらにラックやアナテールの製作、設置などを含め、スタジオ音声設備全体をトータルのプロデュースします。

運用方法やスタジオ特有の機能、機器レイアウトなど経験豊富な技術スタッフを交えて、お客様と綿密な打ち合わせをさせていただ

き、今までの技術やノウハウ、最新技術を活かしたご提案をさせていただきます。また、音声卓・ラック・アナテールなどの機構品のデザイン・色・サイズも細かく検討し、スタジオ全体を統一デザインにすることで音もビジュアルも完成度の高い音響空間が実現します。

尚、旧設備の撤去工事から設計・製造、新設備の据付工事まで責任を持って対応させていただきます。

トータルインテグレートで構築することにより、必要な機能の音声卓への埋め込みやシステム統合を行い、スペースの確保や今後使っていただくコンテンツ制作の効率的な運用が行えます。メンテナンスもスピーディーな対応が可能となり、ご納入後のメンテナンスコストの軽減や管理を容易にすることができます。

Tokyo FM スペイン坂スタジオ
(アナブース)

Tokyo FM スペイン坂スタジオ



TBSラジオ 第8スタジオ



TBSラジオ 第0スタジオ

NHK CD808スタジオ(ラック室)



SYSTEM INTEGRATE システムインテグレート

理想に叶うシステム構築の実現。

お客様のスペースや仕様、予算などで異なってくるニーズにも合わせたスタジオ音声設備のシステム構築を可能にしています。

ご指定の国内外メーカーの音声卓や設備・単体機器のシステム接続や実装、セットアップ・周辺機器の製作など、トータルインテグレートと同様に、今までの技術やノウハウ、最新技術を活かしたご提案をさせていただきます。もちろん音声卓の実装テーブルやラック、アナテーブルの製造などもお受けします。

納入実績として、NHK HD520/CD808などのMAスタジオでは海外製音声卓を使用し、音声に限らず、映像・同期・リモートなどスタジオ内すべてをシステム構築し、最新のサラウンド編集スタジオを実現。また、TBSラジオ 第5スタジオでは、海外製音声卓や編集機器などとのシステム構築とともに、VUパネル・制御パネルなどの製作や音声卓の実装テーブル・ラックの製造を行い、CM制作専用収録スタジオを実現しました。

お客様の理想に近づけた音声設備をご提供するためにスペース・仕様・予算・デザインなど、様々なニーズにお応えし、ご満足していただけるシステム構築を実現させます。



NHK CD808スタジオ



NHK CD808スタジオ
(アナブース)



TBSラジオ 第5スタジオ



CBC (中部日本放送)
東京支社スタジオ

デジタル音声卓



SYSTEM AND ITEM

システム／製品

良品質である国産製品の創出。

様々なスタジオ設備・周辺機器のシステムや製品をハードからソフトまで自社で設計・開発・製造しています。

放送設備に係るシステムとして、アナログ／デジタルの音声卓やコーディネーション卓、ディレクター卓から、中継架・電話連絡装置・音声入力盤など、お客様のニーズに合わせ製作しています。システム構築に必要なパネルユニット（インピーダンス変換・アナログデジタル変換 他）や単体機器（線路増幅器・音声増幅器 他）などの製品をはじめ、スタジオ周辺機器（モニターパネル・VUパネル・FUボックス 他）やオーディオアクセサリ（デジタルチェッカー 他）などの製品の製作も行っています。さらにモニター棚や放送表示灯などの音声以外のスタジオ設備も幅広くご対応します。また、ホールや競技場、テーマパークなどの音声システムや制御システムの構築・製作も多くの実績があり、仕様や運用方法によるカスタマイズで、今もなお多くのお客様にご支持をいただいています。

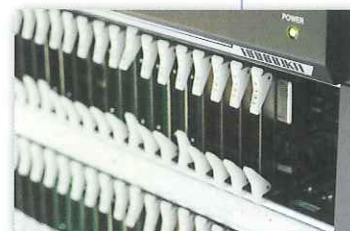
※製品についての詳しい内容は、当社「ホームページ」又は「製品カタログ」をご覧ください。



モニターパネル



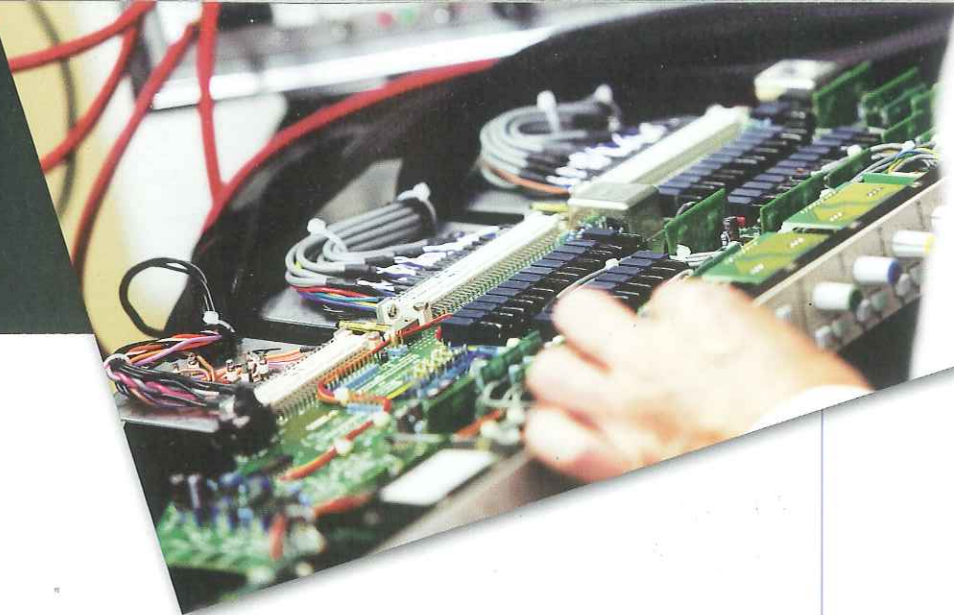
モニター棚



ユニット棚



FUボックス



SERVICE AND MAINTENANCE

サービス/保守

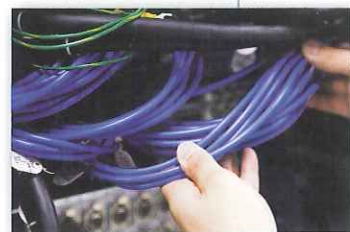
出会いから続くお客様との信頼の絆。

お客様のシステムや製品が、いつでも最良の状態を保ち、より長く快適にご使用いただくために、ビフォアサービスからアフターサービスまでのトータルサービスを積極的に行っています。

製作に入る前からご相談やご質問をお伺いし、お客様の立場

に立ってご対応させていただいています。納入後は、設備の経年劣化をカバーするとともに、突発事故を未然に防ぎ、大切なシステムや製品の長寿命化を実現するため、定期的な点検やオーバーホール、新製品への移行などをご提案させていただきます。

さらに、花岡無線電機ではより長くご使用いただくために、システムや製品の修理やオーバーホールなどのメンテナンス期限は定めていません。使用している部品が手に入る限り、ご対応をさせていただきます。また、メンテナンスを行う場合、お客様の運用方法に合わせて出張及び、お預かりをさせていただきます、点検やオーバーホールなどを実施しています。



ビフォアサービスからアフターサービスまでの流れ

事前のご相談 ▶ 御見積 ▶ ご注文・図面作成 ▶ 製作・立会検査 ▶ 納入・据付工事 ▶ 設備完了引き渡し ▶ 定期点検・保守

会社名 花岡無線電機株式会社 [HANAOKA MUSEN DENKI CO., LTD.]

本社所在地 〒152-0004 東京都目黒区鷹番1-11-6

TEL 03-3714-3141(代表)

URL <http://www.hanaoka-m.co.jp>

設立 1954年7月5日

資本金 50,000,000円



營業品目

音声設備機器のシステム設計・製造／放送用ミキシングコンソール／
 拡声用ミキシングコンソール／マルチレコーディングコンソール／
 中継用ポータブルミキサー／連絡用電話放送装置／ラジオマスター中継装置／
 各種音声増幅器／各種音声効果機器／大型中継用インターカム／
 中継用小物機器

主要取引先

日本放送協会／株式会社NHKアイテック／全国民間放送各社／
KDDI／諸官庁／日本電気株式会社／日本無線株式会社／
池上通信機株式会社／ソニー株式会社／パナソニック株式会社／
株式会社東芝／三菱電機特機システム株式会社／興和株式会社／
ジェイビルジャパン株式会社／株式会社朋栄／
プロダクション各社／レコーディングスタジオ各社（順不同敬称略）

主要取引銀行

みずほ銀行 新橋支店／みずほ銀行 都立大学駅前支店
三菱東京UFJ銀行 都立大学駅前支店
りそな銀行 学芸大学駅前支店



本社外觀

納入実績一覧

【北海道・東北地区】NHK・北海道放送・北海道テレビ放送・青森放送・東北放送・仙台放送・東日本放送・山形放送・岩手放送　【東京地区】NHK・東京放送・文化放送・日本テレビ放送網・ニッポン放送・関東テレビ・フジテレビジョン・テレビ朝日・テレビ東京・JFM（JFM東京）・J-WAVE　愛蔵FM・日本大学放送・科学学東海大望望高校・国営音楽大　放送大【中国・四国地区】NHK・熊本放送・大分放送・山口放送・山陽放送・山陽放送・中国放送・テレビ山口・南海放送　九州・沖縄地区】NHK・阿ール・ぐー（テレビ熊本）・テレビ山口・山梨【中部・北陸地区】NHK・中部日本放送・名古屋テレビ放送・中京テレビ・FM愛知　【近畿地区】NHK・朝日放送・毎日放送・大阪放送・読売テレビ・大阪エフエム放送・金沢放送　【中国・四国地区】NHK・山陰放送・山陽放送・中国放送・テレビ山口・南海放送　九州・沖縄地区】NHK・阿ール・ぐー（テレビ山口）・毎日放送・九州朝日放送・福岡放送・テレビ熊本・熊本放送・大分放送・宮崎放送・長崎放送　（順不同敬称略）

配慮から生まれる無限の可能性。

花岡無線電機では、平成16年にISO14001(環境マネジメントシステム)の認証取得を果たし「環境配慮型製品の提供」や「省エネ活動」「再資源化の推進」「地域貢献活動」など様々な活動を行い「環境にやさしい製品の提供」に取り組んでいます。さらに、平成21年より「品質を向上し、お客様が満足する製品の創出」を目指し、ISO9001(品質マネジメントシステム)の認証取得に向けて社員一丸となって活動しています。



環境配慮型製品



職場体験の風景

■**環境配慮型製品の提供**／環境方針に「環境配慮型製品の開発設計の推進」を掲げ、その施策の一環として有害化学物質の使用の禁止を優先課題とし、特にRoHS指令に基づく6物質の製品アセスメントを完全に実施し、RoHS対応製品を今までに12機種製造し「環境に配慮した製品の提供」に努めています。

■**省エネ活動**／平成15年よりISO14001マネジメントシステムを導入し、様々な省エネ活動を展開しています。平成14年電気使用量対比で平成15年以降延べ5年間で計133,744kWh削減するとともに、76,838kgのCO₂の排出を抑制しました。

■**再資源化の推進**／廃棄物の削減活動として3Rの推進を優先課題とし、社内の製造工程ならびにお客様の設置工事等で発生する廃棄物の完全リサイクル化を図り、廃プラスチックはRPF(固形燃料)化し、廃電気部品からは金・銀・鉛などの貴金属を回収し、セキュリティを考慮した

産業廃棄物の100%再資源化に努めています。また、廃ケーブルドラムの花屋への譲渡などリユースも積極的に行っています。

■**地域貢献活動**／平成19年より地域貢献活動として、地域の中学校の要請を受け職場体験の実施を行っています。実際に「働くこと」を体験することで、働くことの楽しさや厳しさ、社会のルールやマナーを学んだり、将来の可能性や仕事の社会的役割など、学生の「将来に対する意識」を高める活動に協力しています。



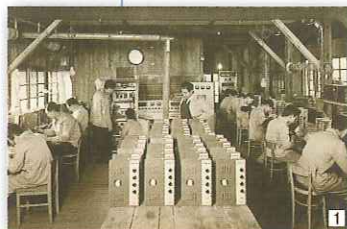
廃ケーブルドラムのリユース

※2004年7月にISO14001(環境マネジメントシステム)の認証を取得。

◆上記以外にも様々な環境を考えた活動に取り組んでいます。



EMS 09 062



大正14年 花岡ラジオ商会にて創業 **1** ※写真は昭和25年

大正15年 ラジオ受信機審査会入賞

昭和29年 花岡無線電機株式会社に改組

昭和31年 芝工場新設 放送機器製造



昭和36年 世田谷工場新設 **2**

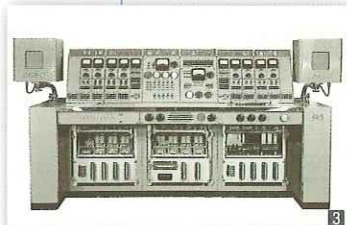
NHK殿より音声ユニット製作に対し感謝状をうける

N響演奏所ステレオ調整卓納入

昭和38年 FM主調整装置納入 **3**

昭和39年 東京オリンピック各競技場中継設備納入

海外用スタジオ設備納入



昭和40年 芝工場新築

昭和45年 万博会場用調整装置納入

昭和46年 ステレオ用トータルモジュール開発製造

モジュール化中継装置納入



昭和47年 札幌オリンピック各競技場中継設備納入

昭和53年 目黒区に新社屋完成

36CH、VCA、マルチ調整卓納入 **4**



昭和54年 CPU制御による効果卓開発製造

昭和57年 画像通信用運用操作卓納入

昭和58年 音声分析・合成装置 ADAMsystem 開発製造

CPU制御による電話放送管理システム開発製造 **5**



昭和59年 回線音質改善装置 LIMEsystem 開発製造

CPU制御による入出力マトリックス付き

32CH音声調整卓納入 **6**

昭和60年 衛星放送対応 ハイスペックユニット開発製造

昭和61年 大型音楽番組対応オートメーションコンソール納入 7

昭和62年 大型中継車インターカムシステム納入

昭和63年 NHK新ニュースセンター音声設備納入 8

新方式ライン等化器製造

FM局対応 ニューコンソール製造 9

電話回線音質改善装置発売

平成 元年 12CHミキサー Sound Kepper12発売

博覧会イベント用音声装置納入

CPU制御によるインターカムシステム納入

音声中継車納入 10

平成 8年 デジタルコントロールミキサー納入 11

平成11年 デジタルミキサー開発

平成15年 NHK地上波デジタルラジオスタジオ向け
デジタル音声調整装置納入(東京、大阪)

平成16年 ISO14001認証取得

NHK県域局向けR/FM調デジタル音声調整装置納入

平成19年 TBSラジオアナログ音声調整装置納入 12

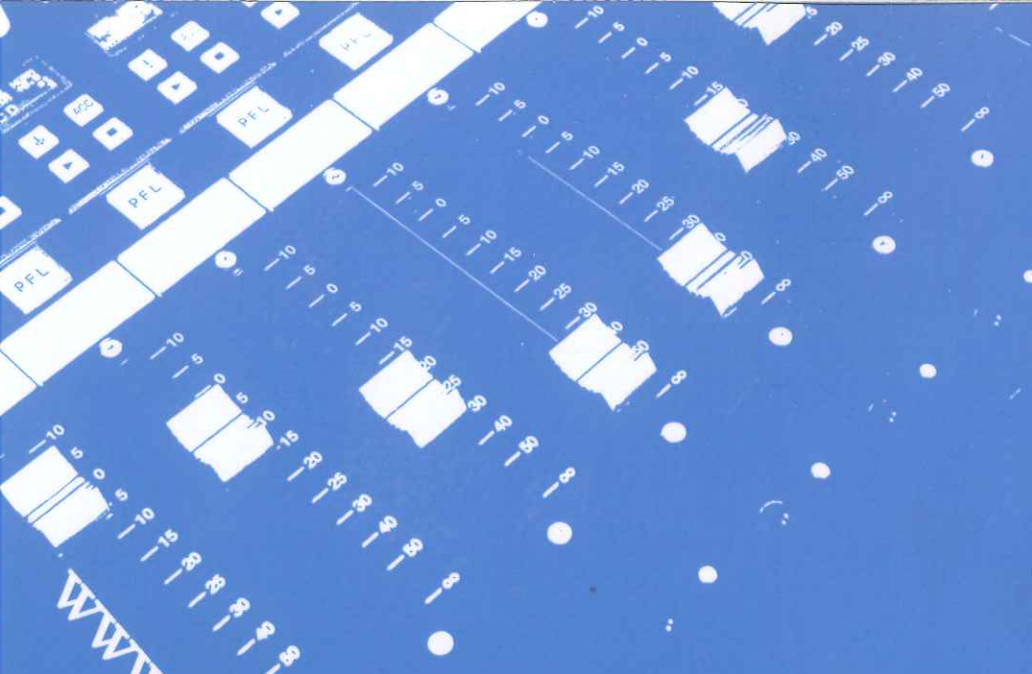
NHK県域局向けR/FM調デジタル音声調整装置納入

平成20年 TBSラジオアナログ音声調整装置納入

山陽放送ラジオアナログ音声調整装置納入

平成21年 TBSラジオデジタル音声調整装置納入





www.hanaoka-m.co.jp

HANAOKA 花岡無線電機株式会社

〒152-0004 東京都目黒区鷹番1-11-6 TEL:03-3714-3141

HANAOKA MUSEN DENKI CO., LTD.

1-11-6 Takaban, Meguro-ku, Tokyo 152-0004, Japan

HMDCP09102000